

**H27 授業改善プラン 中学校 第3学年 国語**

品詞の性質や特徴を見分け、単語の類別について理解する力を育成する。

**指導について**

- ・ 調査問題概要／市正答率  
『単語の類別について理解する』問題 A<sup>9</sup>四②／市正答率 26.0%
- ・ 課題  
単語の類別についての理解が不足している。
- ・ 指導の手立て  
単語が自立語と付属語に大別され、その中でそれぞれ品詞に分類されることを確認し、単語のもつ働きに着目させながら、品詞の特徴や使い方のきまりについての理解を図りたい。

【教材名 文法の窓2「文法のまとめ」】

【指導計画と評価】 教科書 P.186(248～249)

時	指導計画	指導の手立てと留意点 / ☆評価 【使用する資料等】
1	○既習事項の復習を通して、文法的に性質の異なる語の見分け方を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【ワークシート1】を配布し、文法の既修事項である自立語と付属語の違いや品詞の種類について簡単に復習する。(自立語と付属語、品詞名)</li> <li>・【ワークシート2】を配布し、それぞれが違う品詞やその一部であることを告げ、<u>それぞれの識別をグループごとに話し合う。</u>ワークシート2では、「だ」「ない」「そうだ」について識別する方法を考える。教科書を活用し、自力解決を図らせる。</li> <li>・机間指導の中で、見分けるためのヒントを随時与える。</li> <li>☆文法の復習や性質の異なる語の見分け方に意欲的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度／発表、観察)</li> </ul>
2	○文法的に性質の異なる語の見分け方を通して、文法に対する理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【ワークシート3】を配布し、<u>それぞれの識別をグループごとに話し合う。</u>グループごとに「らしい」「で」「に」について識別する方法を考える。そして、教科書を活用し、自力解決を図らせる。</li> <li>・机間指導の中で、見分けるためのヒントを随時与える。</li> <li>☆文節や単語、品詞や活用形などを基に、文法的な性質の異なる語の識別の仕方を理解している。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項／ワークシート)</li> <li>・<u>授業の最後に、各単語の識別の仕方についてまとめる。</u></li> </ul>

年 組 番 氏名 ( )

①メロス②激怒した。必ず、かの邪知暴虐の王を除かなければならぬと決意し③た。メロスには政治が分から④ぬ。メロス⑤は、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮らしてきた。⑥けれども邪悪に対しては、人一倍に⑦敏感であった。今日未明メロスは村を出発し、野を越え山越え、十里離れたこのシラクスの町にやってきた。メロスには父も、母もない。女房も⑧ない。十六の、内気な妹と二人暮らした。この妹は、村のある律儀な一牧人を、近々、花婿として迎えることになっていた。結婚式も間近なのである。メロスは、それゆえ、花嫁の衣装やら祝宴のごちそうやらを買いに、⑨はるばる町にやってきたのだ。まず、⑩その品々を買い集め、それから都の大路をぶらぶら歩いた。メロスには竹馬の友があった。セリヌンティウスである。今はこのシラクスの町で、石工をしている。その友を、これから訪ねてみるつもりなのだ。久しく会わなかったのだから、訪ねていくのが楽しみである。

傍線部の品詞は何か。次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。(同じ記号を複数回使用しても良い。)

ア 副詞    イ 動詞    ウ 助動詞    エ 連体詞    オ 助詞

カ 形容詞    キ 形容動詞    ク 名詞    ケ 接続詞

①
②
③
④
⑤

⑥
⑦
⑧
⑨
⑩

ワークシート1

年 組 番 氏名 ( )

①メロス②激怒した。必ず、かの邪知暴虐の王を除かなければならぬと決意し③た。メロスには政治が分から④ぬ。メロス⑤は、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮らしてきた。⑥けれども邪悪に対しては、人一倍に⑦敏感であった。今日未明メロスは村を出発し、野を越え山越え、十里離れたこのシラクスの町にやってきた。メロスには父も、母もない。女房も⑧ない。十六の、内気な妹と二人暮らした。この妹は、村のある律儀な一牧人を、近々、花婿として迎えることになっていた。結婚式も間近なのである。メロスは、それゆえ、花嫁の衣装やら祝宴のごちそうやらを買いに、⑨はるばる町にやってきたのだ。まず、⑩その品々を買い集め、それから都の大路をぶらぶら歩いた。メロスには竹馬の友があった。セリヌンティウスである。今はこのシラクスの町で、石工をしている。その友を、これから訪ねてみるつもりなのだ。久しく会わなかったのだから、訪ねていくのが楽しみである。

傍線部の品詞は何か。次の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。(同じ記号を複数回使用しても良い。)

ア 副詞    イ 動詞    ウ 助動詞    エ 連体詞    オ 助詞

カ 形容詞    キ 形容動詞    ク 名詞    ケ 接続詞

①	ク
②	イ
③	ウ
④	ウ
⑤	オ

⑥	ケ
⑦	キ
⑧	カ
⑨	ア
⑩	エ

○「だ」の識別

品詞・解説

ア これが私たちの中学校だ。

イ 一キロメートルも泳いだ。

ウ あそこに咲いている花はきれいだ。

○「そうだ」の識別

ア 今夜花火大会があるそうだ。

イ 明日は雨が降りそうだ。

○「ない」の識別

ア 食料の蓄えがない。

イ 食料を蓄えていない。

ウ 食料の蓄えが少ない。

○「だ」の識別

品詞・解説

ア これが私たちの中学校だ。

断定の助動詞

イ 一キロメートルも泳いだ。

過去の助動詞「た」の濁音

ウ あそこに咲いている花はきれいだ。

形容動詞の一部

○「そうだ」の識別

ア 今夜花火大会があるそうだ。

伝聞の助動詞

イ 明日は雨が降りそうだ。

推定(様態)の助動詞

○「ない」の識別

ア 食料の蓄えがない。

形容詞(「ある」↑↓「ない」)

イ 食料を蓄えていない。

助動詞(「ぬ」「ず」に置き換えられる)

ウ 食料の蓄えが少ない。

形容詞の一部

○「らしい」の識別

品詞・解説

ア この鉛筆削りはあたらしい。

イ 明日は雨が降るらしい。

○「で」の識別

ア 昔の食事は質素であった。

イ 彼はこの学校の生徒ではない。

ウ 木の棒で火をおこしていた。

エ カヌーをこいで川を遡る。

○「に」の識別

ア 元気に過ごすことがモットーだ。

イ 友情に勝る宝はない。

ウ 家についてすぐにお風呂に入った。

○「らしい」の識別

品詞・解説

ア この鉛筆削りはあたららしい。

形容詞の一部

イ 明日は雨が降るらしい。

推定の助動詞

○「で」の識別

ア 昔の食事は質素であった。

形容動詞の活用語尾

イ 彼はこの学校の生徒ではない。

断定の助動詞

ウ 木の棒で火をおこしていた。

格助詞

エ カヌーをこいで川を遡る。

接続助詞

○「に」の識別

ア 元気に過ごすことがモットーだ。

形容動詞の活用語尾

イ 友情に勝る宝はない。

格助詞

ウ 家についてすぐにお風呂に入った。

副詞の一部